



木内みどり

ここでコラムを書かせていただくことになりました木内みどりです。よろしくお願ひいたします。

今回は「棺桶かんぼく」について。

(どう生きていくかを考えることは勿論もちろんですが、どう死んでいくかに思いを巡らすことも大切と思い、ここ数年、いろいろと準備・勉強・練習しているのです)

「入棺体験」一緒にいかが？

風の色

今や、アマゾンでも売っている「棺桶」。すぐに燃やしてしまうものなのに結構なお値段で、最高級桐製300万円なんてものまであります。「葬儀」そのものが、遺族や近親者に寄り添わない形式優先で葬儀屋主導が多く、腹立たしい経験をすることも多いですよ。

私の希望は、なるべく迷惑をかけずにひっそりと消えていきたいので、セレモニーなし・読経なし・戒名なし・可能な限り簡素な棺桶……。インターネットで探して探して、今のところ段ボールを扱う会社の「トライウォール・ジャパン」が生産している、環境に優しいエコなコフィン(棺ひつぎの意味)「エコフィン」という棺

がいちばんと思っっています。家族や友人、知人に、メッセージやイラストなどを好き勝手に描いてもらい、その色とりどりの思いにくるまれて、生まれた時と同様何も持たず裸で、あの世へ旅立ちたいと願っています。

で、可能であれば疑似体験ができないものか……。エコフィンに横たわり、二度と目覚めることのない永遠の眠り、その静けさを、全身全霊で受けとめてみたい……。「お試しエコフィン」ないでしょうか？ と聞いてみたところ、あるそうです、「入棺体験」！
ご興味ある方はお手紙ください。詳細をお伝えします。あっ、一緒に行きましょるか？ (笑)
(女優)